KAGA CITY







VISION






加賀市ビジョン2030





もっと住民が幸せな加賀市へ

市長メッセージ

社会や暮らしを取り巻く環境が大きく変化する中、これからの加賀市には、変化に柔軟に対応しながら、将来を見据えてまちづくりを進めていくことが求められています。そして、本年度をもって、第2次加賀市総合計画の計画期間が終了することも踏まえ、加賀市がこれから「どのようなまちを目指すのか」「何を大切にして進んでいくのか」を分かりやすく示すため、新たに「加賀市ビジョン」を策定しました。

私が目指すのは、市民の皆さまが日々の暮らしの中で「加賀市に住んでいてよかった」と感じ、子どもたちや若い世代にも「ここで暮らしたい」「いつか帰ってきたい」と思ってもらえるまちです。

そのため、加賀温泉駅周辺をはじめとしたにぎわいの創出を進めるとともに、市民生活を支える基盤の充実と、加賀市の魅力を磨き上げる取組を両輪として、暮らしの安心とまちの活力を高めてまいります。

「もっと住民が幸せな加賀市へ」

皆さまと力を合わせ、次の世代へ、より良い加賀市をつないでまいります。



令和8年11月　　加賀市長　山田　利明

はじめに

加賀市には、歴史・文化、ものづくり、伝統工芸、温泉地、自然など、豊富な地域資源や長年培われてきた多くの強みがあります。

一方で、人口減少や少子高齢化、若者流出、担い手不足など、加賀市を取り巻く社会環境が大きく変化する中、空き家、公共施設の老朽化などの課題が生じています。

こうした変化や課題に柔軟に対応するため、市民生活を支える基盤の充実と、加賀市の魅力を磨き上げる取組を両輪に、加賀市が持つさまざまな強みを生かし、地域の魅力の価値を高め、人材や仕事、交流を生み出すことで、地域の活力を持続可能な形として将来につないでいくことが大切です。また、将来の人口規模や地域の実情に合った形で暮らしを支え続けられるよう、まちの仕組みを持続可能な形へと整えていくことも必要です。

そして、何よりも大切にしたいことは、住民一人ひとりが幸せを実感し、子や孫の世代まで安心して暮らし続けられ、若者からも暮らす場所や働く場所として選ばれる加賀市をつくることです。

将来にわたり、住民が身体的・精神的・社会的に満たされるよう、人と人とのつながりや地域での支え合いを大切にしながら、タウンミーティングなど市民の声に耳を傾け、市民・事業者・行政が一体となり、「もっと住民が幸せな加賀市～元気を生み、健やかさを保ち、幸せを実感するまち～」を、共に創り上げていきます。

なぜ、今ビジョンを作るのか

❶社会環境の変化

- 住民ニーズの多様化
- 社会経済情勢の急速な変化
- 人口減少や少子高齢化

❷長期計画の課題

- 従来の計画は期間(10年)が長い。
- 将来を細かく規定するには限界がある。

❸ビジョン策定

- 中期(2030年度まで)の将来像を示す。
- 分かりやすい形で共有する。

▶ **位置づけ…　市政運営の羅針盤**
▶ **役割……　市の確かな将来像や進むべき方向性を分かりやすく示す指針**
▶ **期間……　～2030年度(令和12年度)**

加賀市ビジョン理念体系

目指す姿
もっと住民が幸せな加賀市へ
（元気を生み、健やかさを保ち、幸せを実感するまちへ）



もっと住民が幸せな加賀市へ
元気を生み、健やかさを保ち、幸せを実感するまちへ

●加賀市に住む人が、今だけでなく将来にわたって幸せを実感できるまち
●子や孫の世代まで安心して暮らし続けることができるまち
●若者から暮らす場所や働く場所として選ばれるまち

元気を生む
●産業や観光を活性化し、地域経済の力を高めます。
●文化・自然・スポーツを通じて、人の交流を広げます。
●まち全体に、にぎわいと活力を生み出します。

健やかさを保つ
●誰もが安心して暮らし、学び、働ける環境を整えます。
●医療・福祉・防災・交通・地域コミュニティなど、暮らしの基盤を支えます。
●花や緑、山、海、川、湖など、自然環境の健やかさを育みます。

幸せを実感する
●活力・安心・つながりを、幸せの実感へつなげます。
●日々の暮らしの中で幸せを感じられるまちを目指します。
●これからも住み続けたいという思いを育みます。

政策実現の姿勢

過去から学ぶ
●加賀市がこれまで培ってきた歴史、文化、伝統、地域の知恵を受け継ぎ、今後の市政運営に生かします。
●これまで築いてきたインフラ、医療、福祉など、市民の暮らしを支える基盤や仕組みを見つめ直し、持続可能な形で次世代へつなげていきます。

未来に挑戦する
●社会や地域の変化に対応し、新しい考え方や技術、事業に積極的に取り組みます。
●人口減少や少子高齢化など、従来の方法だけでは解決が難しい課題に対して、将来を見据えた新しい取組を進めます。

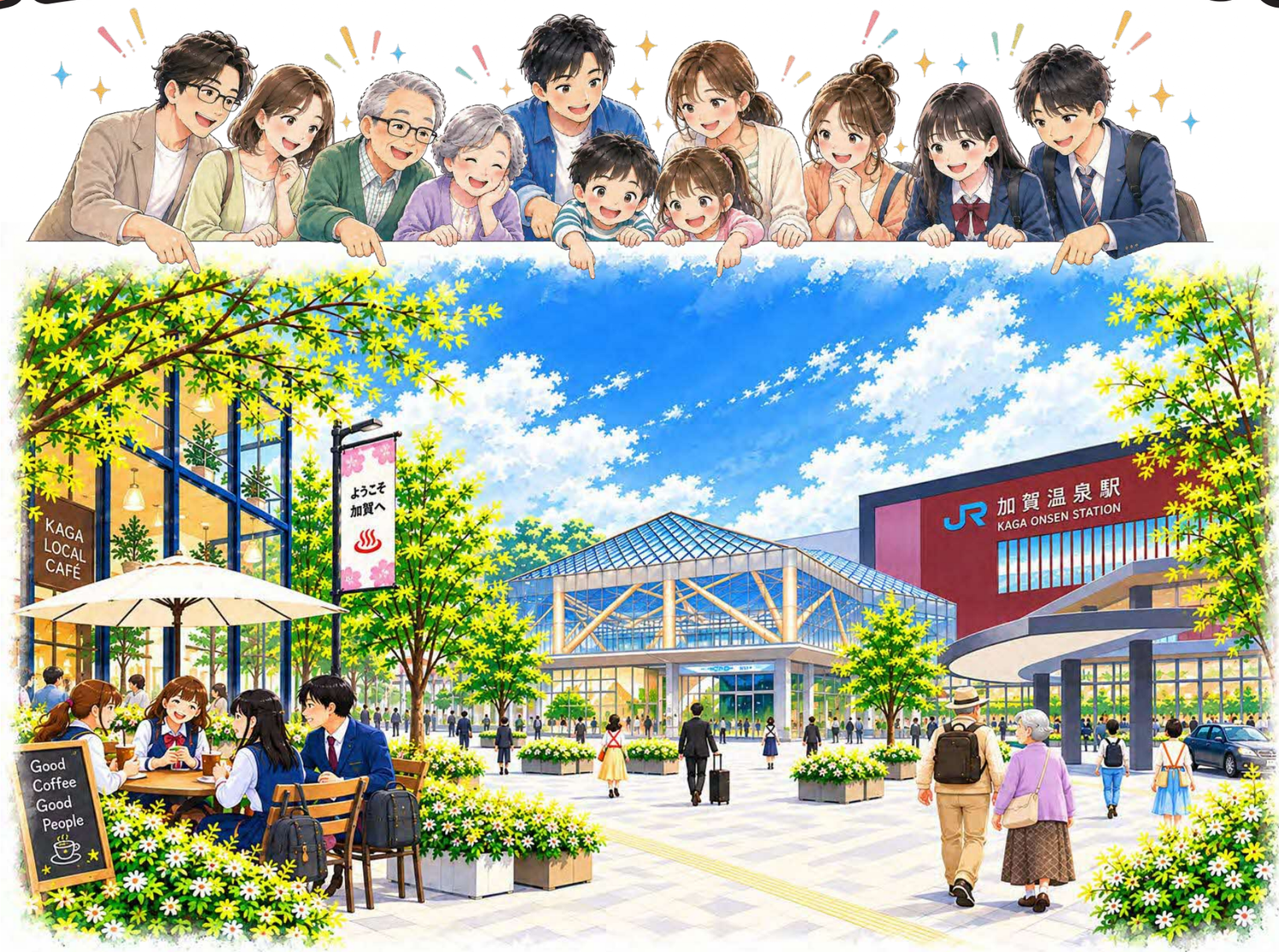


目指す姿

もっと住民が幸せな加賀市へ

元気を生み、健やかさを保ち、幸せを実感するまちへ







歴史・文化の継承と磨き上げ

加賀温泉駅をはじめとしたにぎわい創出

市民生活を支える基盤の充実

「明るい未来の加賀市」を象徴的に表現したイメージビジュアルです。特定の人物や団体、実際の場面を再現したものではありません。

もっと住民が
幸せな加賀市への 4つの道しるべ

過去から学ぶ
伝統産業・文化の継承
地域資源の磨き上げ・活用

未来に挑戦する
新たな観光の創出

地域資源の価値を高めます

■ 加賀温泉郷、九谷焼、山中漆器、歴史・文化、自然環境などの加賀市の魅力を磨き上げます。
■ 高めた価値を、交流人口の拡大や地域経済の活性化、市民の郷土愛の醸成につなげます。

地域の歴史・文化資産と伝統産業・芸能を守り、次世代へ継承します

歴史的なまち並みや建造物の保存・活用を進めるとともに、伝統的な文化や工芸、祭礼、行事等の普及・継続と後継者育成を支援します。また、地域の担い手とシビックプライド（地域への愛着・誇りと、その地域を良くするための当事者意識を持つこと）を育むとともに、その内容を磨き上げ、国内外の観光客を呼び込む観光コンテンツとして活用することで、持続可能な形として次世代へ継承します。



地域拠点の特色を生かし、北陸新幹線加賀温泉駅をはじめとした駅周辺のにぎわいと交流を創出します

７つの地域拠点（大聖寺・山代・片山津・動橋・作見・橋立・山中）それぞれの特色を生かし、道路・公園等の都市施設の整備を進めます。特に、加賀温泉駅周辺は本市の活力の中心として都市機能を充実させ、にぎわいを創出します。また、その他の駅についても、日常的に人が立ち寄り、滞在できる環境を整え、にぎわいづくりにつなげます。



※イラストはイメージビジュアルです。特定の人物や団体、実際の場面を再現したものではありません。

地域資源を磨き上げ、観光客を誘致し、地域の活性化を図ります

地域資源を生かした観光コンテンツを造成し、観光客の誘致と地域経済の活性化を図ります。

また、地域の事業者が創出する特色ある食の魅力を磨き上げ、観光客の誘致と観光消費額の増加を促進し、地域経済の活性化につなげるとともに、市民の満足度や生活の質の向上を図ります。



体験型・高付加価値観光を推進し、インバウンド誘客と交流人口の拡大を図ります

北陸新幹線沿線や越前加賀地域の自治体と連携し、国内外への情報発信や観光コンテンツの磨き上げ、販路開拓を進めます。また、ローカルガイドの育成、伝統工芸や自然等を生かした体験型・高付加価値観光商品の造成、海外友好都市との交流を通じて、インバウンド誘客と交流人口の拡大、観光消費額の増加を図ります。







※イラストはイメージビジュアルです。特定の人物や団体、実際の場面を再現したものではありません。

もっと住民が
幸せな加賀市への 4つの道しるべ

過去から学ぶ
地域の支え合いの強化

未来に挑戦する
産業の高度化・革新
新産業の誘致

地域の活力を育みます

■ 地域産業の強みを伸ばし、新産業の創出との相乗効果により、新たな価値や雇用を生み出します。
■ 交通の利便性を高めるとともに、地域のつながりを育み、人や地域の交流を促します。



地域産業の強みを伸ばし、稼ぐ力を高めます

ものづくり産業（伝統工芸を含む）、観光業、農業など地域に根付く主要産業の生産基盤や担い手の確保を支えます。また、商品力・ブランド力の向上や国内外への販路拡大を進めるとともに、地域産業の競争力と稼ぐ力を高めることで、新たな雇用の創出につなげます。





企業の成長と新たな産業・雇用の創出を進めます

リスキリングや先端技術・デジタル技術の活用により、地域企業の経営力や生産性の向上を支えるとともに、成長産業分野の企業や多様な人材を呼び込み、新たな事業や産業、雇用が生まれる環境を整えます。

※イラストはイメージビジュアルです。特定の人物や団体、実際の場面を再現したものではありません。

公共交通の利便性を更に高め、移動手段に制限がある人が外出しやすい環境を整えます

通院、通学、買い物、地域活動への参加など、日常生活に必要な移動手段を確保することで、高齢者、こどもなどの移動手段に制限がある人が外出しやすい環境を整えます。



地域のつながりを育むとともに、スポーツなどの機会を創出し、多様な人の交流を広げます。

交流拠点の活用やスポーツなどを通じて、住民同士の交流や地域活動を支えるとともに、地域外の人材など多様な人が地域とつながる機会を広げます。

地域の担い手を育み、それぞれの経験や力を生かして地域課題を解決することで、誰もが安心して暮らし、活躍できる地域コミュニティを育てます。





※イラストはイメージビジュアルです。特定の人物や団体、実際の場面を再現したものではありません。

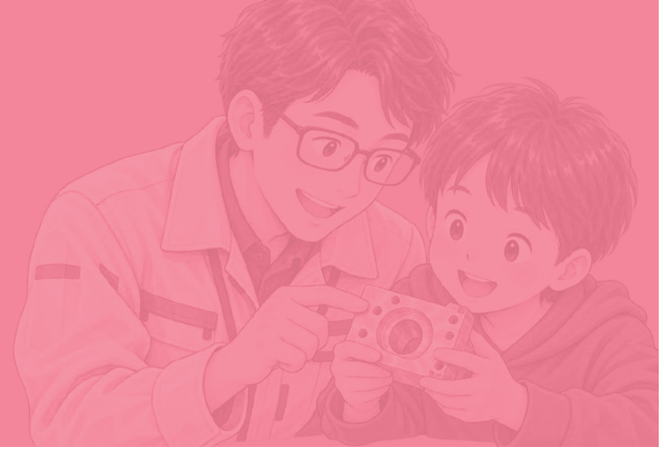
もっと住民が
幸せな加賀市への 4つの道しるべ

未来に挑戦する

未来を担う人材育成

こども・若者の学びと成長を支えます

■ 教育、子育て、若者の居場所、地域との関わりを充実させ、次世代を担う人材を育成します。
■ 若者の将来的な定住や、地域への関心の高まりにつなげます。



加賀市教育ビジョン「BE THE PLAYER」を推進します

「自分で考え 動く 生み出す」学校づくり、ユニバーサルデザインの学校づくりを更に推進します。また、放課後においても子ども主体の学びの場を広げます。

自分自身の「好き」「全力」「やってみよう」を感じる瞬間を通じて、生涯にわたって自ら学べる人材を育成します。



こどもと大人が共に育つ、「こどもまんなか」のまちづくりを推進します

子育て支援という枠組みを超え、こどもも大人も共に未来へ向かって成長できるまちを目指します。また、全てのこどもが「自分の居場所がある」と実感できるよう、地域全体で「こどもまんなか」の環境づくりを推進するとともに、妊娠期から出産、子育て期にわたり、誰一人取り残さず、切れ目なく寄り添う子育て支援を行います。



※イラストはイメージビジュアルです。特定の人物や団体、実際の場面を再現したものではありません。

若者が自分らしいライフデザインを描けるような環境を構築します

労働分野、子育て支援分野、医療・健康分野と連携し、若い男女の健康づくり（プレコンセプションケア）や、労働・職場環境づくりを推進し、子育て支援の環境整備に取り組むことで、就職、結婚、出産などのライフイベントを若者自身が自律的に選択できるよう支え、地域全体で若者のライフデザインの実現を後押しします。



産学官の連携により、若者の学びと成長を支えます

産学官の連携を進め、市内企業との共同研究やインターンシップ、地域課題解決型学習などを通じて、若者が専門的な知識や技術を学び、地域や企業と関わりながら成長できる環境を整えます。



※イラストはイメージビジュアルです。特定の人物や団体、実際の場面を再現したものではありません。

もっと住民が
幸せな加賀市への 4つの道しるべ

過去から学ぶ
生活基盤の維持・再構築

暮らしの安心安全を支えます

■ 医療、介護、福祉、防災、インフラなど、市民生活を支える基盤を整えます。
■ 暮らしの安心安全を支え、全ての施策を進めるための土台を築きます。

医療・介護・福祉をつなぎ、支え合えるまちを実現します

医療・介護・予防・住まい・生活支援の５つの要素を地域の特徴と合わせて提供できる仕組みを構築するために、相談・支援体制を整えます。

一人ひとりの状況に応じた切れ目のない支援により、高齢者、障がい者、こどもなど全ての市民が地域で自分らしく暮らし続けられる環境をつくります。

健康づくりを支え、健やかに暮らせるまちを実現します

生活習慣の改善により、健康を増進し、生活習慣病の発症や重症化を予防することで、自分の健康の確認、維持、見直しを行う機会を提供し、市民の健康づくりを応援します。また、行政、民間企業、各種団体、大学等がそれぞれの強みを生かしてつながり、市民と一体となって「食」と「運動」を通した健康づくりを推進します。



※イラストはイメージビジュアルです。特定の人物や団体、実際の場面を再現したものではありません。

防災・消防・救急を強化し、災害に強いまちを実現します

備蓄や住宅の耐震化、防災教育、自助・共助・公助の取組を進めるとともに、消防・救急車両、資機材、消防施設等の計画的な更新・整備や、デジタル技術の活用を進めます。

平常時から災害に備え、発生時に迅速かつ的確に対応できる体制を整えます。

暮らしの安全対策を充実させ、安心な生活環境を守ります

交通事故や犯罪、住宅火災、有害鳥獣による被害など、日常生活における様々なリスクへの対策を進めます。また、関係機関、地域との連携、啓発や環境整備を通じて被害を未然に防ぎ、市民の安全な暮らしを守ります。



生活インフラを適切に維持し、安全で快適な暮らしを支えます

道路や橋梁、上下水道などの生活インフラを計画的に点検・維持・更新するとともに、安定したごみ処理体制を確保します。

人口減少や施設の老朽化にも対応し、将来にわたり安全で快適な暮らしを支える生活基盤を整えます。

公共施設・公共空間を再編・活用し、持続可能な暮らしを支えます

公共施設の集約化・複合化・長寿命化を進めるとともに、公園や未利用施設、公共空間の多様な活用を図ります。

人口減少や施設の老朽化、住民ニーズの変化に対応した施設の配置と有効活用を進め、地域の交流や活動につながる価値ある空間をつくります。



※イラストはイメージビジュアルです。特定の人物や団体、実際の場面を再現したものではありません。

市政運営の原則

市政運営の透明性

■ 市がどのような課題を捉え、どのような考え方や根拠に基づいて政策を決定しているのかを分かりやすく示します。

■ 市民や地域の声、現場で生まれる気づきを丁寧に受け止め、理解と信頼に基づく開かれた市政運営を、市民とともに進めていきます。

財政の持続可能性

■ 人口減少や社会情勢の変化を踏まえつつ、デジタル化による行政運営の効率化と市民サービスの向上を進め、歳入の確保や歳出の適正化、基金・市債残高にも留意しながら、充実した市民サービスや将来への投資を着実に進めます。

■ 未来の可能性を最大化するための戦略的決断として、「選択と集中」を徹底し、将来世代に過度な負担を残さない持続可能で健全な財政運営を行います。

ビジョンの実現に向けて



「もっと住民が幸せな加賀市」の実現に向け、ビジョンに掲げる方針をもとに、各分野の計画や予算編成等において、具体的な施策等につなげ、着実に実行していきます。

本ビジョンの4つの道しるべは、行政の枠組みにとらわれず、市民の暮らしの充実に焦点をあてたものです。この道しるべに紐づく取組を掛け合わせることで、新たな視点や分野の垣根を越えた施策等を生み出し、実効性を高めていきます。また、関連する施策等をつなぎ、それぞれの強みを生かし、補い合うことで、相乗効果を生み出し、より大きな成果につなげていきます。

そして、進み具合や成果を確認しながら、必要に応じて見直しや改善を行い、次の施策等へとつなげていきます。

ビジョンの実現に向けた進め方

01 方針に基づく施策等を設定
ビジョンに掲げる方針をもとに、具体的な施策等を設定します。

02 施策等を実施
関係者と連携しながら、一つひとつの施策等を着実に実行します。

03 進捗確認等
進み具合の確認や、効果を検証します。

04 見直し・改善
確認、検証した結果を踏まえ、必要に応じて施策等の見直しや改善を行います。

05 次の施策等へ
新たな施策等の検討や、より効果的な施策等へとつなげていきます。

加賀市総務部企画課未来共創推進室
〒922-8622　石川県加賀市大聖寺南町ニ41番地　TEL 0761-72-7822　E-mail miraikyousou@city.kaga.lg.jp